

# 鳥海の子

～明るく・かしこく・たくましく～

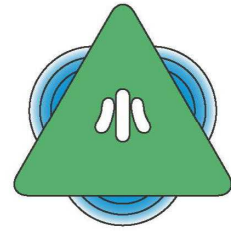
令和6年度 学校報 No.17

文責 校長

コミュニティ・スクールだより

由利本荘市立鳥海小学校

令和6年 7月19日



そばの種まき  
今年は大々々準備万全に



7月16日(火)久しぶりの晴天のもと、3年生・4年生が直根栄寿会、鳥海サポーターズ倶楽部、学習支援ボランティアのみなさんと、直根学習センターのそば畑で種まきをしました。

はじめに、「なぜ、鳥海でそばづくりなのか」とお話をうかがいました。縦割りグループで担当の場所に、そばをばらまきしたり、レイキを使ってトントンと種を土の中に隠したり、地域の方々に声をかけてもらいながら取り組みました。作業中には自然と、みなさんの表情が和やかに、笑顔になっていた様子が印象的でした。

活動終わりには、地域の方々お一人お一人にお茶を配ったりお話ししたりもしました。

種まきの日は、青空いっぱいの日でしたが、そばは水はけの良さが、成長に影響するそうです。そばがグングン育つお天気に恵まれることを願います。

# 由利本荘市教育委員訪問



7月17日(水)、秋山正毅教育長をはじめ、由利本荘市教育委員会のみなさんが鳥海小学校を訪問しました。ユニバーサルデザインの視点を生かして、やさしく、温かく、明るく子供一人一人が伸びようとしていること、明るくはなやかな校舎環境のもと、目で見て感じることへの心配りが伝わることなど、子供達や職員のがんばりをたくさんほめてくださりました。以下、ご指導ご助言いただいた一部を紹介いたします。

- ・ICTの活用が目的ではなく、手段として子どもたちの学びに生かされている場面が数多くあった。デジタルかアナログか選択できる取組になっていてよい。空間的工夫が見られたので、多様な学びにつながる空間づくりも期待される。
- ・子どもたちの表情が明るく、学びに集中している様子が伝わってきました。
- ・不登校が一人もいないように「いごこちアンケート」や「何でもお話タイム」を通してきめ細かく、日々の子どもの不安を受け止め解決していると思います。
- ・元気で素直な印象でした。女子が生き生きしていました。少人数の良さ、女子が多いことの良さも引き出されていると感じます。
- ・子どもたちが集中していて、「勉強しなきゃ」という雰囲気が伝わりました。タブレットを子どもたちがうまく使っていました。反面、タブレット画面と子どもの目線が近く全体的に姿勢が悪くなっている印象を感じました。2年生のように、「よい姿勢」の児童を認めて、姿勢についても指導してほしいです。
- ・教室内の環境、廊下の環境に、児童の学びの足跡がしっかりと示されており、振り返りカードにも自分の思いがたくさん書かれていた。丁寧に展示されており、コメントをびっちり書いている様子に子どもの一生懸命が伝わってくる。読んでいてうれしくなった。保護者であっても同じ思いになると思う。
- ・図書司書の方の手作り環境が心を豊かにしてくれました。また、広大な校地を道路側まで美しく草刈りをしていて、気持ちが清々くなりました。
- ・一人一人の児童が、学びに主体的に向かっている姿がどのクラスでも見ることができ、日常の先生方の、子供一人一人を育てようとする、子供が主人公の学習ができていますと感じた。
- ・どの先生もICTを活用し、子どもたちがタブレットを使い慣れていて、ツールとして効果的に活用している様子が伝わってきました。学習環境として、既習事項を教室に学習コーナーと掲示し、授業に生かしている様子も見られると同時に、学びを生活に生かしている様子も見られ、すばらしいと思いました。
- ・とても明るくポジティブな印象を受ける校内環境を作ってくださいありがとうございます。毎日通う場所だからこそ、その雰囲気や視覚的に得るものは大きいと思います。花火の折り紙、6年生の教室の歴史年表、整った教室、その全てが当たり前でなく、先生方が日々ご自身の仕事以上の愛情をもって取り組んでくださっている証に見えました。本日はありがとうございました。

## 家族の命も自分で守りたい～6年生 心肺蘇生に挑戦～

7月12日(金)、由利本荘市消防署鳥海分署の方々をお招きし、6年生が救命講習を受講しました。倒れている人の呼吸は真横から確認すること、AEDは指示を出してくれるから自分たちでも誰かの命を守れること、講習後「もしもの時は、自分が家族の命を守りたい」との発言が出るほど、真剣に、熱心に学びました。

